



2020年10月1日

各位

会社名 中本パックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 河田 淳  
(コード番号: 7811 東証第一部)  
問合せ先 経営企画室長 吉田 卓司  
(TEL. 03-5209-3222)

業績予想の修正及び特別利益（負ののれん発生益）並びに

特別損失（段階取得に係る差損）の計上に関するお知らせ

当社は、2021年2月期第2四半期連結累計期間において、下記のとおり特別利益（負ののれん発生益）と特別損失（段階取得に係る差損）をそれぞれ計上する見込みとなりましたのでお知らせします。また、当該特別利益と特別損失の計上に伴い、2020年4月13日に公表いたしました第2四半期累計の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別利益（負ののれん発生益）と特別損失（段階取得に係る差損）の計上について

当社は、2020年7月13日付「持分法適用関連会社の第三者割当増資引受（連結子会社化）に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、持分法適用関連会社であった三国紙工株式会社の連結子会社化を完了いたしました。これにより、特別利益として負ののれん発生益227百万円、特別損失として段階取得に係る差損99百万円をそれぞれ計上する見込みとなっております。

2. 連結業績予想の修正

2021年2月期第2四半期(累計)連結業績予想（2020年3月1日から2020年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株式 に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	百万円 16,960	百万円 735	百万円 755	百万円 530	円 銭 64.85
今回修正(B)	17,160	784	807	683	83.58
増減額(B-A)	200	49	52	153	—
増減率(%)	1.2	6.7	6.9	28.9	—
(ご参考)前期実績 (2020年2月期 第2四半期)	17,197	761	794	554	67.87

### 3. 修正の理由

2021年2月期第2四半期(累計)につきましては、売上高が当初予想を上回る見込みであり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による営業活動の自粛などにより経費が圧縮され、営業利益及び経常利益も予想を上回る見通しです。

また、上記1項に記載の特別利益と特別損失を計上することにより、親会社株主に帰属する当期純利益についても予想を上回る見通しです。

2021年2月期通期の業績予想につきましては、当初、新型コロナウイルス感染症の影響は2020年夏頃まで続くとして仮定しておりましたが、終息時期は未だ予測することが出来ない状況にあるため、2020年4月13日公表の通期の業績予想から変更していません。

イベントの中止や、外出・行楽の自粛が今後も続く場合は、比較的高価格帯の容器・トレー向け商材などの需要回復が見込めず、また営業活動の自粛やテレワークの拡大により、工場などでの立会試作が制限される場合には、見込んでいた新規案件の進捗が遅れるなど業績が変動する可能性があります。

引き続き業績動向を注視し、今後、業績予想を修正する必要がある場合には速やかにお知らせいたします。

以 上